

令和 7 年度脱炭素社会推進普及啓発委託業務
公募型プロポーザル審査結果

1 審査委員会の日時及び会場

日時：令和 7 年 4 月 30 日（水）13:15～15:50

場所：高知県保健衛生総合庁舎 5 階会議室

2 参加者

2 者

3 審査方法及び審査結果

企画提案書、プレゼンテーション及び質疑応答の内容に基づき、各審査員が審査（採点）を行うとともに全体で協議した結果、次の通り本業務の契約候補者を選定した。

審査項目	配点	候補者	次点者
		adear・東芝データ 共同企業体	A 社
(1)作成コンセプト	40点	29点	25点
(2)業務内容全般	160点	100点	88点
(3)新聞広告の制作・掲載	40点	24点	24点
(4)「環境パスポート」を活用したキャンペーン等の実施・運営	120点	82点	66点
(5)GX勉強会の開催、運営	80点	40点	34点
(6)県内イベントへの体験型ブースの出展等	40点	26点	22点
(7)その他の独自提案	40点	28点	20点
(8)業務遂行能力(実施体制・スケジュール・実績)	40点	29点	25点
(9)経費見積	20点	14点	12点
(10)県が推進する施策への取組	20点	16点	16点
総合得点（(1)～(10)計）	600点	388点	332点

○審査委員の主な意見

- ・プレゼンテーション慣れ感が否めず、具体的な試算や新しい提案等に期待していたが、その点が残念だった。
- ・現行の環境パスポートの機能を活かした提案ができています。
- ・ほっと高知への特設サイトの設置は期待できるが、それ以外の広告へのアプローチが弱い。二の矢、三の矢も検討しておくことが必要。
- ・GX勉強会の開催については、説明のあった内容では検討が不十分。
- ・スマートレシートの取組は好印象。
- ・各媒体の持つ特性や利用者層を意識した提案となっている。
- ・実施体制において、共同企業体の強みを活かしつつ、円滑な業務遂行のための体制作りが想定されている。
- ・勉強会の実施方法、ターゲットングについて、県内状況を踏まえて、更なる工夫が必要と感じる。